

プレゼン台本案 B-v3.2

これから、EK 団@Y ラボの発表を始めます。
私達の大きな悩み事として、

就職活動があります。日本では新卒一括採用というシステムがとられていますが、これは学生にとっても企業にとっても負担があるシステムです。(00:15)

一般には、就活生がエントリーシートを企業に提出し、ES が通って試験、面接などが行われます。(00:20)

このエントリーシートですが、かつては手書きが主流でした。まだ、絶滅してはいません。なぜ手書きを求める企業が未だに残っているのでしょうか。(00:30)

それは、文章以外の情報を読み取ろうとしているからだ、と考えるのが合理的です。一、二枚の紙の少ない情報を頼りに少しでも良いマッチングをするために手書きが採用されているのではないのでしょうか。
この点で考えると、多くの情報がほしいのはどこの企業でも同じだろうと思えます。(00:47)

もちろん、多くの情報を得るために企業が行き着くのが面接や試用期間であって、ここのコストがかからないような情報が求められているはずです。(00:55)

であるならば、手軽に情報を入手できれば良いわけです。(00:59)

そこで、私達はスーパーエントリーシートという新しい形の ES を作成しました。(01:04)

(動画を再生する)

スーパーエントリーシートは、動画付きのエントリーシートをスマホで手軽に作成するアプリケーションです。短い動画をエントリーシートに添えることで、手軽ながらより多い情報を発信できます。

企業は Web 上でこの ES を確認できます。自己 PR の内容は自動で文字起こされ、動画を見ずとも内容を確認できます。必ずしも動画を見る必要はありません。これらによって、企業は従来の ES よりもより良い精度で自社に必要な人材を面接に招待できます。

手書き郵送はもう時代遅れです。もちろん、せっかく Web 上で提出するのにデータは文字と写真だけというのもナンセンスです。(01:40)

スーパーエントリーシートでは、エントリーシートの手軽さはそのままに、ES の価値をより高いものにします。

スーパーエントリーシートの完成によって、問題は大きく解消されました。(01:52)

このシステムの発展として、面接の自動化を目指しています。スーパーエントリーシートに添付された動画を見なければならないことで、企業に負担がかかるのは不本意であるからです。

就活生は、スマホで擬似面接を行い、面接動画を送信します。動画を受け取ったサーバ側では、AI が動画を自動で認識して面接風景を採点し、その可否を振り分けます。(02:15)

これは、一次面接として活用できます。企業は ES の選別だけでなく、一次面接のコストまで削減できます。就活生は、地方にいながらにして遠くの企業へエントリーし、一次面接を受けることができます。

さらに、採点結果を就活生に公開することで、就活生は自身の弱点を自覚することができます。移動費などのコストが減少するだけでなく、自身のブラッシュアップにもつながるということです。(02:40)

このシステムが完成すれば、もう、ES も 1 次面接も必要ありません。

スーパーエントリーシートを通して、私達は日本の就活事情を大きく変えるシステムを提案します。

以上で発表を終わります。(02:55)